

早稲田大学入学式祝辞

野本 弘文

ただいま、ご紹介いただきました**東急の野本**でございます。新入生の皆さん、ご入学、誠にめでとうございます。

この晴れやかな日を、心待ちにしておられたご家族の皆様に、心からお祝いを申し上げます。

本来ならば、この新しくなった**早稲田アリーナ**で多くの皆様をお迎えし、入学式を行う予定だったと思いますが、ご周知のとおり、緊急事態宣言が解除されたとは言え、まだまだコロナの感染拡大の終息が見えない状況であります。

こうした中、教職員の皆様のご努力により、入学式が執り行えましたこと、本当にめでたく、皆さんにとっても思い出に残る**大学時代のスタート**が切れたのではと思います。

私も、今から**54年前**この場所にあった**記念会堂**で行われた入学式に、九州から上京してきた母親と一緒に、参加したのをよく覚えております。

もちろん、こんなに立派な会場ではなかったですがね！

私は、当時の理工学部・土木工学科に入学しました。今は名前が**創造理工学部・社会環境工学科**と言うそうですが、土木の名前がなくなったことは、少し寂しい気も致しましたが、今の時代には大変素晴らしい学科名だと思います。

正に、世の中の変化を先取りした名前であり、また、理工学部の上に**創造**がついたのも良いですね。もちろん、**基幹も先進も**それぞれの名前に、皆様に期待するものが大いに感じられます。

さて、**新入生の皆さん**、皆さんはこれからの大学生活を、如何に過ごしていこうか、期待に胸を膨らませておられることと思います。

いろいろな夢や希望をもって、これからの学生生活を過ごしていくことになると思いますが、ここで是非とも心がけて頂きたいことを**二つほど**お話しします。

一つは**チャレンジ**することです。学生である以上、新しい学問にチャレンジするのは当然ですが、クラブ活動やボランティア活動、何か起業しても良いでしょう。アルバイトも含め、とにかく、若い時には多くのことにチャレンジし、経験してほしいと思います。もちろん**法に触れる**ような悪いことはだめですよ。

また、一つの事をとことん極め、スポーツにしろ、研究分野にしろ、その道の第一人者になることも大変素晴らしいことだと思います。若い時の経験は、たとえ失敗があったとしても、必ず生きてきます。「**経験は人を育てる**」と言いますが、多くの経験は実社会に出ても大変役に立ちます。

私も学生時代、勉強の方はほどほどでしたが、友人との付き合い、数多くのアルバイト、そして大学4年の夏休みには友人と車で35日間かけて日本一周するなど、実にいろいろなことを経験しました。

そうした経験は、社会人となって仕事面でも大いに役にたっています。今でもよく社員に学生時代の経験談など、ちょっと自慢気に話しますが、社員はまたかと思っているかもしれませんがね。

今、世の中は**コロナ感染症拡大**のため、皆さんも受験勉強にも、友達と会うことも制限され大変なご苦勞をされたことと思います。

一方、リモート授業やリモート会議など、ワークスタイルも、ライフスタイルも大きく変化してきております。世の中、変化の時には必ずチャンスが生まれてきます。ただ、じっと待つて居るだけでは、決してチャンスをつかむことはできません。行動することが大事です。

これからの長い人生、いろいろなチャンスに出会うでしょう。勇氣をもってチャレンジしてください。行動すると、時には人様に迷惑をお掛けすることもあります。その時は素直に謝り反省することで、その経験は必ず生きてきます。失敗も若い皆さんには成長の肥やしとなると思います。ただ失敗ばかりして、肥やしが多すぎると、根腐れを起こすかもしれないので、ほどほどにお願いします。

二つ目は、「そうぞう力」です。私は社員によく「**二つのそうぞうりょく**」を鍛えなさいと言っています。一つはイメージーションの「**想像力**」です。

「**想像できないことには対応が出来ない**」と言われますが、子供が急にとび出してくるかもしれないと思って運転するのと、思わないのでは事故を起こす確率は大きく違ってきます。自然災害への対策などについても同じ事が言えます。

また生活面に於いても、アフターコロナの世の中はどうなるのか、何が流行り、何が廃れるのか、お客様の嗜好はどう変化するのかなど、全て想像することから始まります。

こうした想像力を鍛えるためには、何よりも**経験が一番**です。自らの経験には自ずと限界がありますが、本の中であるとか、映画やニュースの中、先生や先輩たちの話、いろいろな人たちから得ることも出来ます。何事にも興味をもって見たり聞いたり、また多くを経験するためにもチャレンジしてください。

そして、いま一つが、学部名にもあります、クリエーションの「**創造力**」です。私はよく社員に、頭で想像したものを実際に具現化したものを創造と言うのであって、形にしてこそ価値が生まれる。そのためには行動しなければ、チャレンジしなければ何も生まれてこない。と言っております。

正に、今日ここにおられる皆さんは「**創造力**」の塊です。日本の未来を背負っていく方々です。かつて日本は「**ジャパン・アズ・ナンバーワン**」と言われた時代もございました。日本初の技術も数多くあり、日本人の学習への意欲と読書習慣をたたえていました。当時は日本の数学力は世界2位、科学分野も情報分野も上位に位置し、世界からもあこがれの的でした。

40年たった今日も、相対的に順位は落ちてはいますが、決して学力が下がったとは思っては居りません。しかし当時と比べ、豊かになった所為（せい）もあるでしょうが、若い方たちの挑戦する意欲が欠けていると感じています。

ここにおられる皆さんには、是非とも二つの「**そうぞう力**」を鍛え、いろんなことに挑戦、チャレンジしてください。正に**校歌**にも歌われている「**進取の精神**」にも繋がるものと思います。

世の中が変化するとき、必ずそこにチャンスが生まれてきます。ただそれに挑戦しなければ何も得られないことも覚えてください。

「Change・Chance・Challenge」三つのCha「チャッチャッチャッ」と覚えると忘れないかもしれません。

本日ここにおられる皆さんは、今日から早稲田大学の学生として、長くも短くもある学生生活を、**しっかりと目標**をもって過ごすか、**漫然**と過ごすかによって、将来に於いて大きな差が出てくることは、お分かりの事と思います。

繰り返しになりますが、「夢」や「希望」は誰にでも持つことができますが、強い「志」と「目標」を持たなければ、夢の実現はとても叶わないでしょう。

夢を実現させるためにも「**チャレンジ精神**」と2つの「**そうぞう力**」は是非ぜひとも身につけていただきたいと思います。

最後となりますが、ここ早稲田大学には、各専門分野でご活躍される優秀な先生方、大学生活を親身にサポートしてくださる心強いスタッフが**大勢**おられます。

こうした方々や、常に皆さんを支えてくださる「ご家族」への感謝の気持ちを忘れずに、恵まれた環境を存分に活かして、しっかりと勉学に励み、充実した大学生活を送ってください。

世界的な大きな変化の真ただ中、この2021年に入学された皆さんの大学生活が、健康で充実したものとなることをお祈りし、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

本日は、ご入学 誠におめでとうございます。